

## わたしのすきな絵本

### 「今月の一冊 ～わたしのすきな絵本～」(3月)

<ご紹介者>

矢祭町長 佐川 正一郎

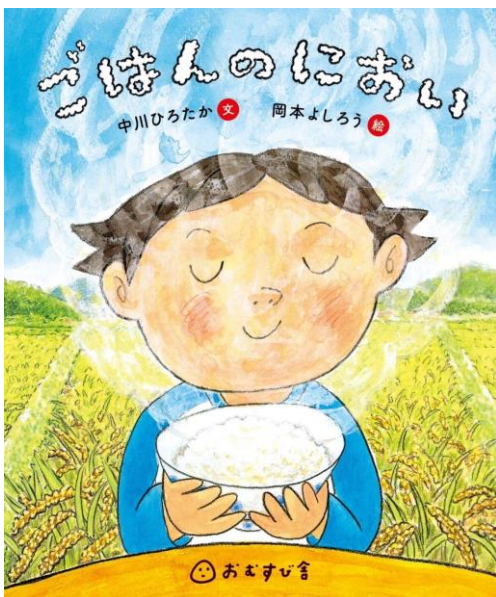
矢祭町子ども読書の街づくり推進委員会委員長



## 『ごはんのにおい』

中川ひろたか 文／岡本よしろう 画／おむすび舎

対象：幼児（5歳くらい）から高齢者



食の大切さを伝える絵本です。  
私たちが毎日食べているごはんは、命の源です。  
米の文化は、縄文時代に中国大陸から日本へ伝わりました。米は、毎日食べても飽きない。そして、栽培は、連作障害が起きにくい素晴らしい食品です。  
“ごはんのにおい”は、子ども達が成長する中で、家族と一緒に食事をする一番大切なことを、教えています。

江戸時代のころは、米が貨幣や税の役割をして社会を創ってきました。

また、米の利用は幅広くたくさんの食品になっています。食の文化を大切にしたいものです。

### 内容のご紹介

“朝食にはごはん！”を推奨する 川島隆太教授推薦！（東北大学加齢医学研究所）「朝ごはんがこどもたちの将来を決めます！」朝、ごはんの炊けるにおいて目を覚ました“ぼく”。「ああ、いいにおい。」ご飯粒がついたほっぺを見て おかあさんが教えてくれた。お米にまつわるお話や、どうしてあさごはんを食べると良いのか、ということ。日本人が2000年以上も前から食べ続けているごはん。お米の大切さ・ごはんの偉大さが詰まった おいしいごはんのにおいがしてくる絵本。

紹介文／おむすび舎(矢祭もったいない図書)